

先生のための夏休み経済教室(高校対象)

2023/8/21

経済学習のパラダイム転換のストラテジーを考える



東洋大学文学部
栗原 久
(クリハラ ヒサシ)



エコノミストと一般市民の「経済的な見方・考え方」の相違

エコノミストと一般市民の「経済的な見方・考え方」は大きく異なる

・同じ質問内容で、エコノミストと一般市民を対象に、経済理解や政策判断を調査した研究がいくつかある。

- ①ワシントンポスト、カイザー・ファミリー財団、ハーバード大学共同調査「経済に関する米国民と経済学者への意識調査 (Survey of Americans and Economists on the Economy)」(1996年)
- ②ブライアン・カプラン(長峯純一他・奥井克美監訳)『選挙の経済学-投票者はなぜ愚策を選ぶのか』日経BP社, 2009年.
- ③柴田章久・花淵敏会「日本経済学会75周年記念事業:学会員に対するアンケート調査について」(池田新介他編『現代経済学の潮流 2010』東洋経済新報社, 2010年)

④“Faith and Skepticism about Trade, Foreign Investment”

(<https://www.pewresearch.org/global/2014/09/16/faith-and-skepticism-about-trade-foreign-investment/>) 2014.

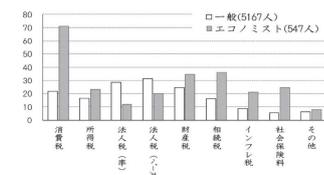
- ⑤梅田政徳他「『日本経済と経済政策に係る国民一般及び専門家の認識と背景に関する調査』について-調査の概要と簡易集計結果の紹介-」(内閣府経済社会総合研究所『経済分析(第197号)』2018年)
- ⑥「特集 経済学の常識, 世間の常識」(『アステイオン(096号)』メディアハウス, 2022年)

- ⑦加藤創太「財政問題について経済学者と国民の意識はどう乖離するのか『経済学者及び国民全般を対象とした経済・財政についてのアンケート調査』の紹介」東京財団政策研究所、2023年 (<https://www.tkfd.or.jp/research/detail.php?id=4263>)

たとえば…今後活用すべき財源

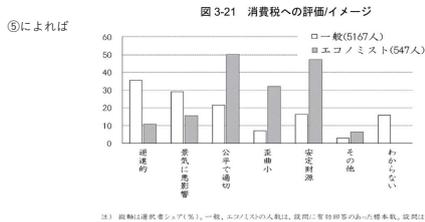
⑤によれば

図 3-20 今後活用すべき財源



(注) 税制は国民生活シミュレーション、一般、エコノミストの人数は、図中に有効回答のみの標準数、図例は複数選択可。

消費税に対する評価／イメージ



社会（公民）科の先生方は？

- 社会（公民）科の先生対象の調査はあるか？
- あったとしたら、どのような結果になるか？
- 社会（公民）科の先生は、エコノミストの考え方に近いのか？ それとも、一般市民に近いのか？

そもそも…

- 経済教育は、児童・生徒がエコノミストのように考えられるようにすること（Think Like an Economist）をねらうのか？
- 「経済的な見方・考え方を働かせる」とは、エコノミストのように構想（選択・判断）できることなのか？
- エコノミストは、一般市民よりも正しい経済理解（政策判断）をしているのか？

ちなみに、B.カプランは…②によれば

- 現実の政治やデモクラシーは、投票者が合理的に行動することによって失敗しているのではない。
- 自分たちの状態を悪くするような、非合理的な（愚かな）選択をすることによって失敗している（民主主義は人々が欲することを反映するが故に失敗する、ということ）。
- したがって、民主主義を改善するには、投票者に経済学教育を施すことが必要であると提案している。

1978年版高校学習指導要領
「現代社会」を振り返る

初代「現社」は…

- 1982年から施行
- 第1学年で履修…「中学校教育との関連をいっそう明確にする」
- 4単位
- 「現社」のみ必修
- 「現社」履修後、日本史・世界史・地理・倫理・政経を選択履修する教育課程…「高等学校教育として共通的に必要とされる基礎的・基本的な内容を中心とし、中学年以降の選択科目の基礎となるように編成する。」

初代「現社」の授業で求められたこと

- 「内容の取扱い」では…「ものの見方や考え方や学び方を習得させる必要がある」との指摘
- 「高等学校学習指導要領解説 社会編」によれば…
- 「習得すべき一定の知識があり、それを理解させ、身につけさせるという考え方に立つのではなく、生徒が今後の人生を生きていく上で、自ら考え、判断し、自分自身の人生と社会生活を充実したものにすることのできる力を育てることに重点を置いて、そのために必要な社会と人間に関する基礎的な問題について学ばせるようにしたのである。」
- 「学校において創意工夫を生かして指導を進めていくことのできる科目となっている。」

初代「現社」の「内容」

- | | |
|--|--|
| (1)現代社会の基本的な問題 | (2)現代社会と人間の生き方 |
| ① 現代と人間：現代社会の成り立ちと人間社会、人類と環境、人口問題と資源エネルギー | ① 人間生活における文化：世界の諸地域の文化と文化交流、日本の生活文化と伝統、現代の文化 |
| ② 現代の経済社会と国民福祉 | ② 青年と自己探究：現代の青年の心理的社会的諸課題、適応と個性の形成 |
| ③ 現代の民主政治と国際社会：日本国憲法の基本的原則と国民生活、現代国家と民主政治、国際平和と人類の福祉 | ③ 現代に生きる倫理：真理を求めて思索することの意義、よく生きることと生きがいの追求、民主社会の倫理 |

「②現代の経済社会と国民福祉」の「内容」は…

- 科学技術の発達と現代の経済生活
(生産の拡大と現代の企業、市場機構と政府のはたらき、経済体制など)
- 日本経済の特質と国際化
(国民所得の動き、景気の変動、国際収支の動向など)
- 経済の調和のある発展と福祉の実現
(消費者保護と企業の責任、人間の尊重と公害の防止、労働条件と労働関係の改善、社会保障と福祉社会の実現など)

2018年版高校学習指導要領 「公共」は…

「公共」は

- 2022年から施行
- 「原則として入学年次及びその次の年次の2か年のうちに履修」…「小・中学校社会科で習得した知識等を基盤に」学習する必要性
- 2単位
- 「公共」のみ必修
- 「公共」履修後、「発展的に学習する選択科目として『倫理』、『政治・経済』を位置づける。」

「公共」の授業で求められていること

- 「現代の諸課題を追究したり解決したりする活動」や「概念や理論について理解するとともに、…諸資料から…情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける」こと、「事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う」ことなど、てんこ盛りで困ってしまうが…
- 「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」では、少なくとも「生徒の学習意欲を高める具体的な問いを立て、協働して主題を追究したり解決したりする」授業が必須。

ご承知の通り、「内容」は…

- A 公共の扉：(1) 公共的な空間を作る私たち (2) 公共的な空間における人間としての在り方生き方 (3) 公共的な空間における基本原理
- B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち：
 - (1) 主として法に関わる事項
 - (2) 主として政治に関わる事項
 - (3) 主として経済に関わる事項
- C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち

「(3) 主として経済に関わる事項」では…

- 職業選択
- 雇用と労働問題
- 財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化
- 市場経済の機能と限界
- 金融の働き
- 経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）

「(3) 主として経済に関わる事項」で注目したい学習内容

「解説」で新たに指摘された事項

- 市場経済においては、公正で自由な競争を促進し、企業が創意工夫を發揮し事業活動を活発化することで、消費者の利益が確保され**社会的余剰**が最大化する
- 政府は、公正かつ自由な経済活動が行われるよう、**財産権を保護**したり、**商取引のルール**を整備したりするなどしている
- 「産業構造の変化やその中での**起業**についての理解を深めることができるようにすること」（内容の取扱い）
- 財政及び租税の役割については、市場経済において政府は、**経済取引に関わる規則を制定**するなどして市場システムを機能させたり…

- 政府の経済政策には、効率と公正の確保、経済成長と環境保全の追求など**相互に対立する可能性のある目標の実現**を調整する必要がある
- 少子高齢社会における社会保障の充実・安定化については、疾病や失業、加齢など様々な原因により発生する経済的な不安や**リスク**を取り除くなどして生活の安定を図り…
- 生活上直面する様々なリスクに対しては…**自助、共助及び公助**が最も適切に組み合わせられるようにするにはどうすればよいか

- 市場における**自発的な交換**によって、交換の参加者には**それぞれに利益**が生じるが、それは国内における取引でも、国境を越えた貿易取引でも同様である
- 金融は、家計や企業からの**資金**を様々な経済主体に**投資**することで**資本を増加**させ、**生産性を高め**、**社会を豊かに発展**させる役割を担っている
- 様々な金融商品を活用した**資産運用**にともなう**リスクとリターン**

- 経営者と投資家などとの間には企業の経営状況に関わる情報の保有量や質に差が存在することから、企業には法に基づく適正な手続きに則った企業会計に関わる情報の開示が求められており、会計情報の提供や活用により、公正な環境の下での法令等に則った財やサービスの創造が確保される仕組みになっている
- 経済成長を実現した発展途上国はどのような成長政策をとったのか…経済の成長には労働力や資本の増加、生産性の向上が必要である

「解説」での指摘は、どの程度授業に反映されているか!?

- 「協力者」の1人としては、できるだけ授業に反映していただければと考えていますが…
- 実際のところは、どうでしょうか。
- 教科書では？
- 一部、反映されたところもあるようです。

教科書記述の変化

- 「公共」の教科書の多くが、希少性、機会費用、トレード・オフ、インセンティブなどの「経済的な見方・考え方」を取り上げるようになった。
- 手元にある「現代社会」の教科書（2016年検定済み）では、これらは取り上げられていない。
- 一方、比較優位の考え方は、相変わらず、国際経済のところにならないと登場しない。
- 経済学習のパラダイム転換は、道半ば!?

生徒の学習意欲を高める具体的な問いを立てる

新学習指導要領で求められる経済教育は、何をめざすか？

- なんとと言っても、「深い学び」の実現である。
 - そのため、「生徒の学習意欲を高める具体的な問いを立て」（「解説 公民編」）ることが重要。
 - それにしても、「解説 公民編」が例としてあげる次のような問いは、抽象的すぎて「生徒の学習意欲を高める」のが困難では？
- いわゆる日本の雇用慣行が崩れてきたのはなぜか
○消費税と所得税はどちらがより公平な税か
○中央銀行はデフレーションに対処するためにどのような政策がとれるか

「具体的な問い」を立てるヒント

- そこで、「もし、**がなかったら、どんな問題が起こるか？」と問うのは、どうでしょうか（アンチプロブレム型の問い）。
- つまり、「市場経済において、証券取引所が必要なのはなぜか？」と問うのではなく、「もし、証券取引所がないと、どんな問題が生じるか？」と問うたらどうでしょう。
- 「もし、銀行がなかったら、私たちはどんなことに困るか？」などです。

同じ〇〇なのに…違うのはなぜか？

- また、「同じ〇〇なのに…違うのはなぜか？」と問うのも、効果的だと考えます。
- 「同じペットボトルのコーラなのに、スーパーの店内で買うのと、駐車場の自動販売機で買うのでは、値段が違うのはなぜか？」といった感じです。

生徒の「わかった！」を支援する経済の授業でありたい

- いずれにせよ、「追究したり解決したりする活動」は、「問い→仮説→検証」が授業プロセスになります。
- しっかりと「問い」をたて、追究させる。
- 活動主義に陥ることなく、「理解のともなった」経済の授業を。

? → * → !